

第10回（令和元年度第3回）認知症リンクワーカー・フォローアップ研修 開催要領

1 趣 旨

新・京都式オレンジプランでは、当事者視点を更に浸透させるため、10のアイメッセージ評価や本人ミーティングの普及を掲げており、認知症リンクワーカー等の支援者が、本人の思いを聴き、本人の声をもとにした地域づくりのスキルを習得することにより、認知症の人が住み慣れた地域で暮らし続けられる社会の構築に資する。

2 主 催

京都府

3 対象者

- ①認知症リンクワーカー養成研修修了者
- ②市町村認知症施策担当者、認知症地域支援推進員、地域包括支援センター職員、認知症初期集中支援チーム員
- ③認知症カフェ運営者
- ④社会福祉協議会職員
- ⑤認知症の人とその家族を支えるためのケアマネジャー研修修了者
- ⑥認知症対応型通所介護事業所職員、小規模多機能型居宅介護事業所職員
認知症対応型共同生活介護事業所職員
- ⑦病院ソーシャルワーカー（地域連携担当者）
- ⑧京都府保健所認知症施策担当者 等

4 日 時

令和2年2月21日（金） 13時15分～16時15分

5 会 場

京都府医師会館 3階310会議室（京都市中京区西ノ京東梅尾町6 JR二条駅前）

6 テーマ

認知症の人の伴走支援

7 プログラム（案）

時 間	内 容
13:15～13:20 (5)	オリエンテーション
13:20～13:45 (25)	実践報告 「認知症リンクワーカー養成研修から学んだ実践」 講師：南丹地域包括支援センター 上 藺 和子氏
13:45～14:35 (50)	講演 「認知症の人と共に歩くということ（仮）」 講師：若年性認知症の人と家族と地域の支え合いの会希望の灯り 代表 下 藺 誠氏
14:35～14:50 (15)	休憩
14:50～16:10 (80)	グループワーク 「希望の灯りの活動から伴走支援を学ぼう」 ファシリテーター：一般社団法人京都社会福祉士会 会長 福 富 昌城氏 アドバイザー：下 藺 誠氏
16:10～16:15 (5)	事務連絡

8 若年性認知症の人と家族と地域の支え合いの会希望の灯りの紹介

若年性認知症の人と家族を地域も一緒になって支え合おうとたくさんの地域の方々と一緒に平成 24 年に誕生。認知症の基本的理解や若年性認知症の状況や理解を地域に広めていく啓発活動、地域に役立つ、社会に貢献する、居場所や就労の機会を作る、社会貢献の機会の実現に取り組んでいる。現在は、農地を借り、地域の人、本人・家族、専門職の人たちと作物を作り販売。

○2018 年 2 月 NHK厚生文化事業団第 1 回認知症にやさしいまち大賞を受賞

○2018 年 12 月 NHK厚生文化事業団第 2 回認知症にやさしいまち大賞特別賞を受賞

○2019 年 5 月 日本認知症ケア学会・読売認知症ケア賞実践ケア賞を受賞

9 講師の紹介 <下 藺 誠>

若年性認知症の人と家族と地域の支え合いの会「希望の灯り」代表
神戸大学経済学研究科前期課程 修了
花園大学社会福祉学修士課程 修了
社会福祉士、精神保健福祉士

2009 年に小地域（小学校区）での認知症に関する意識調査を皮切りに、認知症について地域と共に解決していこうと啓発活動を開始。PTAや自治会への認知症に関する講演の企画をはじめ、小学校での認知症キッズサポーター養成講座や地域安心見守りネットワークを開催するなど様々な活動を展開するとともに、地域に相談拠点を開設し、地域に密着した相談・サポート体制を確立する。

2012 年に地域の自治会と共に若年性認知症の人と家族と地域の支え合いの会「希望の灯り」を設立。地域での若年性認知症と共に生きる方や家族の支援活動を展開。畑を借りて農作物の収穫販売、喫茶店を借りて本人・家族の相談窓口の開設、まちかどライブラリーの開設、子ども食堂（みいけ食堂実行委員会）のメンバーとして活躍している。

実践と理論は両輪と考え、某大学で講師を務め、日本認知症ケア学会や社会福祉学会などで学会発表を続けている。

10 申込方法

- (1)①認知症リンクワーカー養成研修修了者、②市町村認知症施策担当者、認知症地域支援推進員、地域包括支援センター職員、認知症初期集中支援チーム員、③認知症カフェ運営者（京都認知症カフェ連絡会非会員）は、別紙「受講申込書」を在職している市町村認知症施策担当課まで送付してください。

各市町村においては、提出のあった出席者連絡票をとりまとめの上、1月24日（金）までに京都府高齢者支援課あて、ファクシミリもしくは電子メールにて送付ください。

- (2)③認知症カフェ運営者（京都認知症カフェ連絡会会員）、④社会福祉協議会職員、⑤認知症の人とその家族を支えるためのケアマネジャー研修修了者、⑥認知症対応型通所介護事業所職員、小規模多機能型居宅介護事業所職員、認知症対応型共同生活介護、⑦病院ソーシャルワーカー（地域連携担当者）及び⑧京都府保健所認知症施策担当者は、別紙「受講申込書」を1月24日（金）までに京都府高齢者支援課あて、ファクシミリもしくは電子メールにて送付ください。

11 定員等

100名（参加費無料）

※申込後、定員を超える等受講者の調整を行う場合以外は受講者へはご連絡いたしませんので、直接会場へお越しください。

12 問い合わせ・申込先

京都府高齢者支援課地域包括ケア推進担当 担当：中村主任

電話：075-414-4573 FAX：075-414-4572

Eメール：a-nakamura37@pref.kyoto.lg.jp